

2 三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

I 概況

1 生産の動き

平成9年の県内鋳工業生産指数の年平均は、116.1（平成7年=100）で（年指数については、原指数による。以下同じ。）、対前年比5.7%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると（四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。）1～3月期109.9（対前期比0.9%増）、4～6月期119.0（同8.3%増）、7～9月期117.4（同1.3%減）、10～12月期118.8（同1.2%増）となった（表14、図5）

これを業種別に対前年比でみると、電気機械工業23.9%、一般機械工業22.7%、非鉄金属工業10.0%、プラスチック製品工業9.6%、輸送機械工業7.7%、石油・石炭製品工業7.2%、化学工業1.3%とそれぞれ増加した。一方、窯業・土石製品工業△18.7%、金属製品工業△8.2%、繊維工業△7.8%、その他の工業△6.1%、鋳業△4.5%、鉄鋼業△3.2%、パルプ・紙・紙加工品工業△2.3%とそれぞれ減少した。（表10）

また、財別に対前年比でみると、耐久消費財12.3%、鋳工業用生産財8.9%、資本財8.7%、非耐久消費財1.8%とそれぞれ増加した。一方、建設財△12.4%、その他用生産財△1.5%とそれぞれ減少した。（表11）

2 生産者製品在庫の動き

平成9年の県内鋳工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」という）の年平均は、98.1（平成7年=100）で、対前年比0.3%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期101.6（対前期比6.0%増）、4～6月期96.2（同5.4%減）、7～9月期101.1（同5.1%増）、10～12月期94.3（同6.7%減）となった。（表15、図5）

これを業種別に対前年比でみると、石油・石炭製品工業15.4%、一般機械工業12.8%、金属製品工業8.5%、鉄鋼業8.1%、輸送機械工業5.3%、プラスチック製品工業5.1%、非鉄金属工業3.2%、食品工業2.2%とそれぞれ増加した。一方、電気機械工業△13.7%、鋳業△13.2%、繊維工業△6.3%、窯業・土石製品工業△3.1%、化学工業△2.5%、パルプ・紙・紙加工品工業△1.5%、その他工業△0.8%とそれぞれ減少した。（表12）

また、財別に対前年比でみると、耐久消費財15.4%、資本財12.3%、その他用生産財11.8%、非耐久消費財7.8%とそれぞれ増加した。一方、鋳工業用生産財△3.9%、建設財△1.4%とそれぞれ減少した。（表13）